

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に係る市町の
平成28年度の実施状況及び平成29年度の実施等について

【広島市】 資料 1-1 の再掲

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各区役所において転入者に対して、ハザードマップ等により災害危険箇所、避難場所等を周知 ○ ハザードマップのホームページへの掲載 ○ 広報誌（市民と市政5月15日号、3月1日号）、ホームページ、広報番組（ミチル殿これ見て一見落着）等により災害危険箇所の確認方法等を周知 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定緊急避難場所及び指定避難所について避難場所の種別、災害種別ごとの適応表示、海拔表示、多言語表示を記載した標識を設置【新規】 ○ 29.4.1 から「広島市防災ポータル」の運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県バス協会からの取り組み状況にかかる課題にあった普及啓発用のポスターについて、広島市で作成した「広島市防災ポータル」のポスターの掲載をお願いしたい。 ○ 平成 29 年 4 月 1 日から運用を開始した「広島市防災ポータル」へのリンクを貼ってほしい

<p>察知する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メールの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教室，出前講座，防災訓練，広報誌，広報番組，ホームページ等を通じた防災情報メールの登録促進 ・ 防災情報メールへ登録しやすくするため迷惑メール設定解除方法を記載したリーフレットの作成・配布 ・ 災害時応援協定締結企業等への防災情報メールチラシの配置及び社員等への登録呼びかけ ・ 市内の14の大学の新生を対象として入学のオリエンテーション等を活用するとともに，広島市PTA協議会の広報紙（7月号）の記事掲載や成人祭（1月）でのチラシ配布 ・ スーパーのレシートを活用した登録呼びかけ ○ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達 ・ 防災行政無線，防災情報メール，ホームページ，SNS（ツイッター，フェイスブック），テレビ（データ放送を含む。），FAX（聴覚障害者用），緊急速報メール，サイレン，広報車等を通じて，避難情報を伝達 ○ 避難勧告等の避難情報の伝達及び入手方法の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急速報メールの積極的な活用による避難情報の伝達 ・ 防災教室，出前講座，イベント等の機会を利用した避難情報の入手方法周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む ○ 広島市防災ポータルにより避難情報（避難準備情報・高齢者等避難開始，避難勧告等）や避難場所等の開設情報，雨量・水位などの観測情報を提供【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災に関心が少ない市民に対する防災メールの認知度が低いと思われる。 ○ 避難情報の種類や意味についての認知度不足。
-------------	--	---	--

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップ作成を支援するため、防災士等の防災専門家を派遣 ○ 自主防災組織による防災訓練や防災講演会の開催 ○ 地域特性を踏まえた防災訓練の指導・助言 	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、企業、学校等を対象とした防災講演会、防災研修、防災教室の開催 ○ 広島市総合防災センターにおける防災研修の実施 ○ まちあるきや防災マップの作成を支援するため、防災士等の防災の専門家を派遣 ○ 防災訓練等の実施予定をホームページに掲載し、市民へ周知 ○ 住民、企業、防災関係機関等の参加による総合防災訓練、避難訓練を実施 	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座、防災訓練、ホームページ等を通じて、懐中電灯、着替え、常備薬などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、非常持出品等の備えの啓発 ○ 自主防災組織等への出前講座等の開催 ○ 防災士養成講座等を通じて97名の防災リーダーを養成 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 推進会議委員のHPなどで公開している防災に関する普及啓発コンテンツのリンクを、広島市HP上で公開している行動目標ごとのコンテンツ内に掲載する。 	<p>養成者数の確保及び養成後の活動支援</p>

【呉市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 28 年度新たに、全ての避難所に、災害種別対応避難所看板を設置 ○ 土砂災害ハザードマップを作成し、各戸配布、ホームページへ掲載 ○ 28 年度において土砂災害警戒区域等の指定があった地域において、D I G（※）を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難勧告等の種類や避難情報の収集方法、避難準備・高齢者避難開始や避難勧告等発令時に開設される避難所の周知を行うチラシを作成し、市内全戸配布する。【新規】 ○ 洪水ハザードマップを作成し、対象地区に各戸配布、ホームページへの掲載を行う。【新規】 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国内での大災害の発生により災害に対する関心は高まっているものの、自分が被害にあう事態を想定している人は少ない。 このため、住民自身が、まず災害に遭うことをイメージし、被災を「我が事」とであると認識し、「想定外の事態」に直面した場合にも適切に判断・行動できるように意識を変えていく必要がある。 （※）災害図上訓練【D I G, 「Disaster(災害), Imagination(想像力), Game(ゲーム)】】
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室、出前講座、住民説明会、防災訓練、転入者への周知等を通じた防災情報メール登録促進 ○ 防災教室、出前講座、イベント等の機会を利用した避難情報の入手方法の周知 ○ 28 年度から新たに、自主避難等の避難行動の判断材料の参考となるよう、避難勧告等の判断・伝達に関する情報をホームページに掲載 ○ 防災行政無線難聴地区に屋外拡声子局の増設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<p>大雨や台風等の災害時は、防災情報無線放送の聞き取りに限界があるため、防災情報メールやテレホンサービス、テレビのデータ放送、ホームページやフェイスブックの利用について、引き続き周知をしていく必要がある。</p>

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練、避難訓練等により適切な避難行動の確認などを促進 ○ 避難情報の種別や垂直避難についての周知 ○ 防災教室、出前講座、住民説明会、防災訓練等で災害から命を守るために必要な行動（災害の種類に応じた自らの判断による避難行動（垂直避難、高台避難等））や危険を感じた時は避難勧告等の有無にかかわらず、避難行動を行うことの周知 ○ 土砂災害警戒区域内にある指定避難所について、建物の2階以上に避難できる体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<p>総合防災訓練や避難訓練に参加するのは自治会や学校が多く、いかに防災に関心の薄い住民にこれらの訓練に参加してもらうかが課題である。</p>
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会、企業、学校等を対象とした出前講座 ○ 住民、企業、防災関係機関等の参加による総合防災訓練で、各種体験や展示コーナーを設置 ○ 住民、企業、防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施。多くの市民の参加を促進するため、各市民センターが広報チラシを作成し、町内会等を通じて回覧。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営マニュアルを作成し、自治会等に配布する。【新規】 	<p>防災研修、出前講座、防災訓練等に多くの人に参加するよう、自分の住む地域にどのような災害が起こりうるかを周知することにより、住民の防災に関する意識を高める必要がある。</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難の方法や、非常持ち出し品、備蓄品の用意などについて周知 ○ 防災リーダー養成講座等を通じて防災リーダーを養成 ○ 自主防災組織への出前講座等を実施 ○ 住民が自主避難したいときに、早期に避難所が開設される体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の入手、家族の避難方法、家庭での備蓄や家具の固定など、家庭内での防災対策の推進。 ○ 地域の共助を推進するために、引き続き防災リーダーの養成が必要。

【竹原市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等あらゆる機会を捉えて、市内のハザードを周知、過去市内で発生した災害記録・写真を示し防災意識を喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 市民等が参加できる防災講演会の開催(市主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の場所で、市民等が気軽に参加できる防災講演会の開催、講師の依頼
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の避難行動の判断材料となる気象状況や河川情報の内容、とるべき行動と情報の入手手段について、出前講座により周知、また、昨年6月に発生した大雨に係る市の対応や避難所等の共通認識を図る。 ○ 梅雨や台風時期前に広報誌にて災害の前兆などの話題を取り上げて注意喚起を図るとともに、メールサービスや屋外拡声器等を使用し防災情報の発信に積極的に取り組む。 ○ 市内20箇所の屋外拡声放送装置をFM告知放送システムネットワーク(光ケーブル)で結び、音声・サイレン音による迅速・確実な情報伝達体制の確立(平成29.4運用開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災情報を迅速的確に伝達できるよう告知放送設備の円滑な運営に取り組む。【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 告知放送設備の試験結果による、音声等が聞き取れない地区への情報伝達手段、今後の対応等
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市総合防災訓練、各地域の住民自治組織による地震や風水害を想定した実践訓練を消防機関と連携した実施 ○ 自治会等を中心にまち歩きによる防災マップの作成、各戸への配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 半固定化している訓練参加者へ若年層(中学生等)を加える。【新規】 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自主防災組織に防災リーダーが少ないため、養成・育成していく仕組み作り、「地域防災リーダーの育成講座」の開催等

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度からの運用開始に向けた告知放送設備の放送試験の実施 		
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等を通じて防災知識の習得や地域でのハザードマップの作成。 ○ 協働組織主催の防災訓練では消防機関等と連携し、各種災害に応じた対応の習得に努める。 ○ 自治会や各種団体を対象に出前講座の実施及び広島県自主防災アドバイザー派遣による防災講演、災害図上訓練を実施。 ○ 県主催の「広島県自主防災リーダー研修会」に参加するよう、各協働組織へ呼びかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県自主防災アドバイザーの継続した支援
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらゆる機会を捉えて、備蓄物資(ローリング)や非常持出品の啓発 ○ 市としても食料・飲料水、毛布等の備蓄を推進 ○ 自主防災組織の役員等に対して、非常時の連絡体制や避難行動要支援者の避難対策について啓発 ○ 広島県災害応急救助備蓄物資の有効活用を各協働組織へ呼びかけ、非常食普及に利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 避難行動要支援者の避難対策、有事の際の連絡体制を促進する。【新規】 ○ 防災リーダー養成研修を開催し、地域の防災意識を喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の避難対策は、継続し啓発

【三原市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害ハザードマップの作成 土砂災害（特別）警戒区域に指定された地区を対象としたマップの作成及び三原市ホームページでの公開。 ○ 災害対応表示板の設置 対応する災害の種類を明示した看板を各避難所に設置。 ○ 三原市ホームページ・広島県防災 WEB, テレビ等での災害危険箇所, 避難場所等の周知 ○ ハザードマップ（総合ハザードマップ, 津波, 高潮, 土砂）の作成・配布・災害対応表示板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ まちなか防災標識の設置【新規】 市内の各所に危険箇所を明示した看板を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの市民に, 地域の危険箇所や災害の種類に応じた避難場所を知ってもらう。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三原市メール配信システムでの災害情報等の周知 登録者に対し, 防犯情報・火災情報・災害情報を発信。 ○ FM 告知端末を順次配付 災害時における情報伝達手段の多重化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 出前講座等により三原市メール配信システムの登録を促す。 自主防災組織に対する災害情報の伝達 ○ 継続して取り組む。 ○ コミュニティ FM 放送局の開設【新規】 災害時一斉情報伝達手段の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの市民に三原市メール配信システムの登録を促す。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等による防災訓練支援の実施 防災講話・初期消火訓練等を実施。 ○ 住民参加型の防災体験会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性等の多くの市民の参加。

	車椅子体験・負傷者搬送訓練等。		
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダー養成講座の開催 防災講話・ロープワーク，心肺蘇生法等の実技訓練・避難所運営ゲーム等を実施。 ○ 自主防災組織・町内会等への出前講座の実施 三原市防災士ネットワークと共同で実施。 ○ 防災講演会の開催 ○ 小学校・幼稚園での出前講座 土砂災害・津波に対する講話及び避難訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 自主防災組織連絡協議会総会での情報提供及び防災講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代も含めた防災活動の担い手の育成。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織への支援内容の充実 防災マップ作成補助を新設。 ○ 地域防災リーダー養成講座の開催 本講座により防災活動の担い手を育成。 ○ 備蓄計画に基づく整備・備蓄 拠点となる避難所に計画的な備蓄を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの自主防災組織の活性化。 ○ 防災リーダーの継続的な養成。

【尾道市】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施状況等	課題等
知 る	○ 暮らしのガイドブックに掲載している防災マップにより、転入者に対して市内の災害危険箇所、避難場所	○ 継続して取り組む。	

	<p>等を周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座を複数回実施。防災マップ、暮らしのガイドブック、市 HP 等により災害危険箇所、避難場所等を周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 新たに指定された土砂災害（特別）警戒区域の指定地域を対象とした防災マップの作成及びホームページでの公開。 ○ 指定避難所へ災害種別図記号を記載した標識を掲示する。 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座・市 HP 等により「市安全・安心メール」への登録を促進した。 ○ 気象情報、避難勧告等の情報をテレビ、ラジオ、エリアメール、市安全・安心メール、防災行政無線、広報車等を使い市民に伝達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座等で自助・共助の重要性と自主的な避難行動の必要性を周知した。 ○ 避難行動要支援者名簿の作成・更新を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難の判断を行政任せにしている住民が大勢であり、住民自らが危険度を判断し、自主的に避難するという意識はまだまだ低い。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民を対象とした防災出前講座を複数回開催。 ○ ケーブルテレビやエフエムラジオに出演し、災害に対する備えや避難方法など、防災情報の周知を行った。 ○ 初めてとなる防災フェアを開催し、起震車で地震を 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	

	体験するなど防災意識の高揚を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー育成講座を開催し、地域の防災リーダーを育成。 ○ 防災訓練を実施し、市民の防災意識を高める。 	
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全市一斉防災訓練をはじめ各地域の防災訓練や複数回開催した防災出前講座を通じて非常持出品や家具の転倒防止等日頃からの備えを周知した。 ○ 防災リーダー育成講座を複数回開催し、新たな防災リーダーを認定した。 ○ 自主防災組織への防災資機材購入助成を行い、災害時の共助体制を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少しずつ非常持出品や家具の転倒防止対策等の必要性は認識されているが、出前講座等で確認すると、実際に備えを行っている住民はまだまだ少ない。

【福山市】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施状況等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域等が行う出前講座に防災リーダーを派遣し、地域の危険箇所の周知や地域の状況に応じた避難方法などを周知した。(4～2月：派遣件数61件) ○ 地域の防災リーダーを養成するため福山防災大学を実施した。 ○ 自治会・自主防災組織を対象とした研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災意識の高揚や防災に関する知 	

		<p>識の周知・啓発を図るため、防災啓発用冊子を作成し、全戸配布する。(土砂・洪水・津波・地震に関するハザードマップを掲載)【新規】</p>	
察知する	「知る」の実施状況と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講座、出前講座等により、避難行動の判断材料となる気象情報、河川情報及び避難情報の意味と、とるべき行動、並びに情報の入手手段について周知 ○ 防災講座、出前講座等により、防災情報メールの登録促進 	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練、避難訓練等により、適切な避難行動の確認などを促進 ○ 防災講座、出前講座等で災害から命を守るために必要な行動(災害の種類に応じた自らの判断による避難行動(垂直避難、高台避難等))や、危険を感じた時は、避難勧告等の有無にかかわらず、避難行動を行うことの周知 ○ 南海トラフ地震に備えて、地震・津波から市民の生命・身体を守るため、総合防災訓練(地震・津波災害)を実施。福山市、市民、関係機関、災害時応援協定事業者等が参加した。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福山防災リーダー相互の情報共有や連携強化を図ることで、各リーダーが属する自主防災組織などの連携強化に繋げることを目的として、福山防災リーダー協議会を設立する。【新規】 	

学 ぶ	「知る」の実施状況と同じ	○ 自主防災組織、企業、学校等を対象とした防災講座、出前講座の実施	
備える	「知る」の実施状況と同じ	○ 防災講座、出前講座等により、懐中電灯、着替え、常備薬などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知 ○ 福山防災大学を開催し防災リーダーを養成 ○ 自主防災組織等への防災講座、出前講座の実施	

【府中市】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施状況等	課題等
知 る	○ 土砂災害ハザードマップ作成・周知（H27年度指定の区域を対象）	○ 継続して取り組む。	○ 安全な避難場所が少なく、住民の不安、不満やハード対策の要望が多く出された。
察知する		○ 出水期前の6/1号で防災特集を掲載する。その中で登録制メールの加入促進を行う。	
行動する		○ 自主防災会が実施する避難、防災訓練等に対し、活動費助成を行い、活動の活性化を図る。	
学 ぶ	○ 府中市総合防災訓練を実施。実施にあたっては多くの市民の参加を促進するため、市の広報誌に掲載する。	○ 継続して取り組む。	○ 市民の参加と防災関係機関の活動目の当たりに出来、市民の防災意識を向上につながった。

	○ 出前講座の開催	○ 継続して取り組む。 ○ 防災士会と連携した防災研修会の開催	○ 出前講座については、町内会や組単位で実施しているが、時間的に数をこなすことが出来なかった。
備える		○ 自主防災組織の活動を支援するため、防災士の養成を図る。 ○ 自主防災組織への防災資機材の購入助成を行い、共助の意識を高める。	

【三次市】

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	○ 土砂災害ハザードマップを新規作成し、該当地区へ各戸配布を行う。 ○ 10月に防災フェアを実行委員会として参画し、ハザードマップを掲示、危険箇所の周知と警戒避難体制の啓発を行った。	○ 継続して取り組む。 ○ 避難情報の名称変更にともなう周知と発令段階に応じて取るべき避難行動についての啓発【新規】	○作成、配布を行った後の継続的なフォローが必要である。(活用方法：訓練・学習会)
察知する	○出前講座や防災フェア等を通じて防災一斉メールや県防災 Web への登録についてチラシ配布等による啓発を行った。	○ 継続して取り組む。	○ 防災メールの加入登録件数を増やす取り組みが必要である。

		○ ケーブルテレビデータ放送開始にともなう防災情報の周知啓発【新規】	
行動する	○ 各自主防災組織への訓練実施や防災マップ作りへの支援を行った。	○ 防災フェアのイベントブースで地震や降雨体験により適切な行動について学ぶ	○ 作成したマップの活用や更新についても継続的な取り組みが必要である。
学 ぶ	○ 地域や事業所、学校等に出向いて出前講座を実施した。 ○ 自主防災組織、防災士を対象として、防災リーダー研修会、避難訓練実施検討を行った。 ○ 防災フェアにおいて、防災に関する資料配布、クイズラリーを実施した。 ○ 各自主防災組織で防災訓練（避難訓練その他）が実施された。（市も訓練参画）	○ 継続して取り組む。	○ 地域の地理的特徴や参加年齢層に応じた資料の準備や企画が必要である。 ○ 自主防災組織リーダー・防災士による地域での主体的な企画運営ができるようになることが必要。
備 える	○ 出前講座や防災教室、防災フェアにおいて非常持出品の準備や備蓄品の確保について、実物サンプル等を用いて説明した。	○ 継続して取り組む。 ○ 自主防災組織において緊急連絡網	○ 必要備蓄品について、わかりやすい具体的な資料の作成や啓発が必要。 ○ 建物の耐震化、家具の転倒防止等生活上の身近な備えについても継続的な啓発が必要。

		の確認や地域での要配慮者の把握について協力連携をすすめる。	
--	--	-------------------------------	--

【庄原市】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 更新したハザードマップを6月に各戸配布及び市ホームページへの掲載を行った。 ○ 出前講座にてハザードマップや県防災Web等での危険箇所の確認方法等の周知を行った。 ○ あわせて、防災ハンドブック等の資料の配布を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 県が作成した、地震被害想定・ため池浸水想定等について出前講座等により周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 転入者へのハザードマップの配布が行えていない。転入者が市街地へ集中することもあり該当地区のマップの在庫の確保が必要となる。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ（啓発面）や出前講座等にて避難情報や気象情報、前兆現象などの意味について周知している。 ○ また、県防災情報メールの周知や防災Web等での情報収集等について周知を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急速報メールが十分に活用できていない。3キャリア一括での一斉配信システムの整備を図る必要がある。

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座にて、災害時の必要な行動等について周知を行った。 ○ 総合防災訓練で住民の避難訓練を実施した。 ○ 避難行動要支援者名簿の更新を行った。 	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民自治組織等を対象とした出前講座を行った。 ○ 市職員が地域で開催される防災講演会への参加を行った。 ○ 住民、防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施した。実施前には、行政回覧にて開催について市民に周知をした。 	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座、広報誌にて、非常持出品等の備えについて周知を行った。 ○ 自主防災組織への補助金の交付（防災活動事業、資機材整備事業）を行った。 ○ 自主防災組織育成研修会を開催（3月17日） ○ 避難行動要支援者名簿の更新を行った。 ○ 市における耐震診断・耐震改修の補助制度について、市のホームページで周知を行った。（未申請） 	<p>継続して取り組む。</p>	

【大竹市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民（自主防災組織、自治会含む）に対し、身の周りの災害危険箇所、災害種別ごとの避難場所や避難経路を知る重要性を、出前講座や広報紙等で繰り返し広報及び周知する。 ○ また、「まち歩き」と並行し、地域独自のハザードマップ作成の推進 	<p>継続して取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全てに言えるが、住民の意識啓発が最大の課題。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内2箇所に防災無線子局を新設し、これまで防災行政無線の放送が聞こえにくかった地域の住民が防災情報をより容易に収集できるようにした。 ○ 平成27年7月から開始した市の登録制メールから得られる、防災情報の必要性・重要性を根気強く広報紙などで住民にPRし、登録者増に努める。 ○ また、現在の当市の登録制メールは「市の防災情報（避難勧告等の避難情報や災害対策本部設置情報等）」と「市のお知らせ情報（防犯情報や市のバスの運行情報、選挙広報、クマ目撃情報など）」をユーザーが選択して受信できないシステムの為、既登録者である市民から「市の防災情報ではない情報ばかり入ってきて、何の為に登録したかわからない」「受信は防災情報のみで良い」といった声が多数寄せられた。 「市の防災情報」と「市のお知らせ情報」に分けて選択して受信できるように、改修した。「登録者の流出」を防止した。 	<p>引き続き、住民の声を反映させながら各種「情報収集手段」の運用面を充実させる。</p> <p>現状ある情報伝達手段は概ね問題は解決されたが、その「モノの存在」の周知に関しては、広報・PRを行う。（新規及び継続）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大竹市の工場（特別防災区域）が多数存在する地域柄、三交替勤務者にとっては、日中の無線放送は睡眠妨害となるとの苦情がある。これらを踏まえ、防災無線の意義、重要性がまだ浸透していない。 ○ 防災メールの情報を受けとる携帯電話がスマホ、ガラケーと様々であるが、本サービス提供の前提にインターネットの使用がある。携帯電話の種類によっては、近年のセキュリティ向上により登録が不可の場合がある。登録不可の方に対して、代替えの情報収集手段の確保、及び存在をPRする必要がある。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難方法や災害状況に応じた適切な行動、特に「屋内安全確保」を重点的に広報紙等でPR 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	

		○ 地震発生時の安全行動1, 2, 3のPR【新規】	
学 ぶ	<p>○ 平成28年度大竹市総合防災訓練を実施。22の訓練参加機関による、大規模地震発生時の連携・協力体制を、住民を含む参観者の前で披露。 当訓練は災害発生直後の自治会、消防団の実働訓練も多めに取り入れ、防災関係機関や市の災害対応が始まる前までの活動の必要性をPRした。 また、昨年5月に発足した、大竹市聴覚障害者防災連絡協議会も実働訓練へ参加、「自助、共助」の重要性をベースに訓練を実施した。</p> <p>○ 自主防災組織と自治会役員に対する、自主防災組織育成研修会の実施による組織設立および活性化の重要性の説明。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ 可能であれば、「避難所運営訓練」の実施または、今後実施する為の土台作り【新規】</p> <p>○ 防災リーダー育成事業の開始</p>	<p>○ 市総合防災訓練の開催スパンが不明確</p> <p>○ 自主防災組織に対する意の温度差が自治会毎に大きく異なることから、出前講座、研修で積極的な意識改善に取り組む必要がある。</p> <p>○ 自治会主体の訓練は、実施が少ないことと同時に各地域で訓練内容のマンネリ化を感じ、市がテコ入れをする必要がある。 例えば、住民による避難所を運営する訓練を実施するのであれば、DIG及びHUGを市が指揮をとり実施するなど、避難所運営の主体を現状の市主体から、住民主体へシフトチェンジをする一歩を踏み出す必要がある。</p>
備える	○ 当市の「地域防災計画」及び「わがまちプラン」に掲げる、災害時の「各家庭における備蓄」「家具等の転	○ 継続して取り組む。	

	<p>倒防止策の実施」「避難行動要支援者の支援、安否確認体制の構築」の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座の内容に震災火災に備える「感震ブレーカー」の必要性をとりいれた。 ○ 「避難行動要支援者の支援、安否確認体制の構築」については、これに特化したシステム「大竹市福祉支援システム」を導入した。(平成 28 年 6 月～) 		
--	---	--	--

【東広島市】

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理職員による出前講座を 60 回実施した。(企業及び社会福祉施設への講座も含む) ○ ハザードマップを改定し、29 年 4 月末に全戸配布予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員のみでの対応が限界を迎えている。 ⇒外部委託等の検討
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急告知ラジオ、市防災メールの普及促進 ○インターネット、スマートフォンで見られる気象情報等の紹介 ○防災ラジオを市内小・中・高等学校の主要事務室・教室等への設置(合計 1,408 台)した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別世帯への配布増強。 ⇒啓発を強化する必要あり。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 種類の啓発冊子を作製した。 ○ 「自立支援協議会課題別会議」と協働し、啓発チラシを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な住民(障がい者、外国人等)に幅広く伝わる資料の作成を検討する必要がある。

学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講座（防災及び交通安全）を実施した。 ○ 防災活動リーダー養成講座（社会福祉協議会主催）へ講師を派遣した。 ○ 総合防災訓練を実施した。 ○ 職員・教職員を対象とした防災研修会を実施した。 ○ 全職員を対象とした情報伝達訓練を実施した。 ○ 幹部向け情報伝達・参集訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 （毎年実施の図上訓練をグレードアップする予定。） ○ HUG実施の外部委託【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員・教職員を対象とした研修・訓練の充実
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出し品を紹介した啓発冊子を作製した。 ○ 講座・啓発冊子等で家具の耐震固定を啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の例を紹介していく。 ○ 継続して取り組む。 	

【廿日市市】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施状況等	課題等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「出前トーク」 地域防災相談員による出前トークの実施回数は、平成29年3月6日時点で25回となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「出前トーク」 前年度に比べ依頼数が増え、地域防災相談員及び出前トークの認知

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」 平成 27 年度に改訂した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の概要版を作成し、市内の各世帯に配布した。また、内容について、地域（2 箇所）や防災士会に対し、説明を行った。 ○ 「ハザードマップ」 病院、医院の待合室にハザードマップを掲示・配置し、災害の危険箇所、指定緊急避難場所等を周知した。 ○ 「市広報」 市広報紙に台風シーズンに備えた啓発記事を掲載した。 ○ 「ワークショップ」 平成 28 年度は、市内の 3 地区において、各地区計 3 回のワークショップを実施し、①土砂災害警戒区域等を示した地図上での、緊急時の避難先や避難方向等の検討、②過去の災害発生場所や避難時の注意場所を確認するための「まちあるき」、③ハザードマップへの掲載情報の確認、状況に応じた適切な避難行動や各種情報の収集方法の説明などを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 「地域防災相談員の設置」 市民からの防災に関する相談に応じるとともに、地域の自主防災活動を支援する。 ○ 地域土砂災害ハザードマップ作成 	<p>度や防災への関心の高まりや推測される。ただし、地区によってバラつきがあるため、更に積極的にアピールしていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」 マニュアルの見方や情報の入手方法など、今後も継続して啓発していく必要がある。 ○ 「ワークショップ」 地域から、専門用語が出て、分かりづらいという意見があり、誰もが理解できるように、ワークショップへ参加する職員等への共通認識を再確認する必要がある。
--	--	--	---

		(土砂災害防止法に基づく区域指定の動きに合わせ、地域住民と一緒に避難路や避難先を検討しながらハザードマップを作成する。)	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「出前トーク」 「知る」欄と同様。 ○ 「防災メール」 市ホームページ、市広報紙、出前トーク、土砂法説明会、防災イベントなどで登録制防災メールについて啓発・周知した。 ○ 「市広報」 市広報紙に台風シーズンに備えた啓発記事を掲載した。 ○ 「ワークショップ」 平成28年度は、市内の3地区において、各地区計3回のワークショップを実施し、①土砂災害警戒区域等を示した地図上での、緊急時の避難先や避難方向等の検討、②過去の災害発生場所や避難時の注意場所を確認するための「まちあるき」、③ハザードマップへの掲載情報の確認、状況に応じた適切な避難行動や各種情報の収集方法の説明などを実施。 ○ 「ハザードマップ」 病院、医院の待合室にハザードマップを掲示・配置し、災害の危険個所、指定緊急避難場所等を周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ 「地域防災相談員の設置」 市民からの防災に関する相談に応じるとともに、地域の自主防災活動を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「出前トーク」 「知る」欄と同様。

		<p>する。</p> <p>○ 地域土砂災害ハザードマップ作成・配布（土砂災害防止法に基づく区域指定の動きに合わせ、地域住民と一緒に避難路や避難先を検討しながらハザードマップを作成する。）</p>	
行動する	<p>○ 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」</p> <p>平成 27 年度に改訂した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の概要版を作成し、市内の各世帯に配布した。また、内容について、地域（2 箇所）や防災士会に対し、説明を行った。</p>		
学ぶ	<p>○ 「小学校・保育園の合同避難訓練」</p> <p>南海トラフ地震の津波を想定し、小学校の児童と保育園の園児が高台まで徒歩で避難行動をとる。（H28.10.6 実施）</p> <p>○ 「チャレンジぼうさい」</p> <p>地域内で開催する事業に「防災」を絡めて年間シリーズ化することで、地域づくりが防災の取組につながる自然な循環を作っている。（廿日市市の佐方地区内において、7つの事業をシリーズ化して実施）</p> <p>○ 「出前トーク」</p> <p>「知る」欄と同様。</p> <p>○ 「自主防災組織情報交換会」</p> <p>各地区の事例発表やワークショップを通じて、それぞれの地区の活動について考える（H29.3.8 に実施）</p>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>○ 「小学校・保育園の合同避難訓練」</p> <p>保育園児や先生の入れ替わりが常にあるため、訓練の継続が重要。</p> <p>・「チャレンジぼうさい」</p> <p>参加者は多かったため、一定の成果はあったと思うが、事業への継続した参加や、地域行事（とんどなど）における効果的な防災周知活動の方法に課題がある。</p> <p>・「出前トーク」</p> <p>「知る」欄と同様。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」 平成 27 年度に改訂した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の概要版を作成し、市内の各世帯に配布した。また、内容について、地域（2 箇所）や防災士会に対し、説明を行った。 ○ 「市広報」 市広報紙に台風シーズンに備えた啓発記事を掲載した。 		
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災メール」 市ホームページ、市広報紙、出前トーク、土砂法説明会、防災イベントなどで登録制防災メールについて啓発・周知した。 ○ 「市広報」 市広報紙に台風シーズンに備えた啓発記事を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域防災相談員の設置」 市民からの防災に関する相談に応じるとともに、地域の自主防災活動を支援する。 ○ 老朽化した佐伯・吉和・宮島地域の防災行政無線（同報系）設備をデジタル設備に更新する。【新規】 	<p>継続して取り組む。</p>

【安芸高田市】

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	○ ハザードマップの市HP掲載に加え、市内医師会・	○ 継続して取り組む。	

	<p>歯科医師会に配付し、待合室での掲示を依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練に危機管理課職員 13 回の派遣を行った。 ○ チラシを使い、防災情報メール登録促進や県防災 Web 等の周知を行った。 ○ 自主防災組織主催の防災訓練にて、ハザードマップを使った危険箇所確認を 5 件実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練にて、避難訓練 1 件、危険箇所確認 5 件を実施した。 ○ お太助フォンを通じて避難準備情報 3 件、避難勧告 1 件の広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練にて、情報伝達訓練 1 件を実施した。 ○ 避難行動要支援者の名簿を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 避難行動要支援者の把握、避難支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の個別計画が未作成。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練 40 件のうち、消防署員 19 回、消防団員 8 回の派遣を行った。主な内容は A E D 使用、応急救護、水消火器、バケツリレーなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
備える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織未結成地区の会議において、解消に向けた防災講演会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災リーダー養成講座の開催【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未結成地域の解消。 ○ 防災リーダーの養成が行えていない。

【江田島市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内出前講座による、市民への防災情報の周知を実施し、4月～3月の間出前講座62件、市民参加者2342名が参加し年間を通じ広く防災に関する情報を発信した。 ○ 市広報紙による防災情報の掲載（毎月）により市民に広く情報を発信した。 ○ 防災リーダーニュース紙による防災情報を発信した。年4回（地域防災リーダー及び各自治会長） 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組む。 ○ 市内津波避難表示シール設置【新規】 ○ 土砂災害警戒区域等を踏まえたハザードマップの更新【新規】 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内4か所に雨量計、2箇所に河川監視カメラを設置、9月から市HPに「江田島市防災Web」を作成、江田島市が設置した雨量計4か所及び既存の広島県設置の雨量計4か所の雨量計、市設置の河川監視カメラを市民がHPから閲覧できるようにし、市民への防災情報の多様化を行った。 ○ 6月から防災情報の電話・FAXへの自動配信サービスを開始し市民への防災情報配信の多重化を行い、また、システム面では防災・緊急情報のメール配信、ツイッター配信との操作一元化を行い担当職員の負担軽減を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災情報の多様化に、継続して取り組む。 	

		○ 防災情報メールの同報化（3社：緊急情報メール・エリアメール）【新規】	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を通し、町なか・家なか訓練を実施し、屋外、屋内での防災対策を広く市民に周知できた。 ○ 11月4日の一斉防災訓練では、1地区が中学校と避難訓練を実施、10月25日の県石油コンビナート総合防災訓練では担当地区の2自主防災会が参加、防災マップ作成1地区、地区防災計画作成にともなう避難訓練1地区（2月26日）などが行われ、そのほかにも出前講座を通し、実働を伴う防災訓練が各自治会で行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 江田島市総合防災訓練（市民参加型）への各自治会等の参加【新規】 	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を通しての防災についての知識・技術を広く市民に周知できた。 ○ 地域防災リーダー連絡会を年2回実施し、各地域の防災リーダーによる意見交換や事例等を発表し、情報の共有化・学習を行い、地域での防災活動に役立てた。 ○ 3月11日に外部講師（元気仙沼市立大島小学校長）を招き防災講演会を実施し、東日本大震災当時の状況などを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 地域防災リーダー研修（広島市防災センター等）【新規】 ○ 防災キャンプ（ジュニア防災リーダー養成）の実施【新規】 	

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を通し、日ごろからの備えについて、市民に広く周知できた。 ○ 6月11日防災リーダー育成研修会を開き新規43名のリーダーを育成した。 ○ 防災倉庫（プレハブ型）を市内10箇所に設置し、災害時の備蓄場所の確保を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
-----	--	---	--

【府中町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施状況等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管内のすべての病院・診療所及び特定郵便局にハザードマップを配布した。 ○ 住民課受付横の総合窓口にハザードマップを置いている。 ○ 年間50回程度実施している防災出前講座等において、災害危険箇所等についての話をしている。 ○ 管内24ヶ所の避難所の玄関付近に海拔表示を記したシールを貼っている。 ○ 防災ハンドブックを出前講座の配布資料として活用している。 ○ 県が作成した、地震被害想定・津波浸水想定・ため池浸水想定等について、防災出前講座における地域の防災マップ作りの資料として活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者団体から防災ハンドブックの字が小さく読みづらい、もっと大きな字にしてほしい旨の要望があった。

		○ 土砂災害ハザードマップの作成および周知（平成28年度指定区域）【新規】	
察知する	<p>○ 防災出前講座において、災害予報、避難準備情報等の発令基準、メールの登録方法、避難の時期・方法等については必ず話をしている。</p> <p>○ 住民に災害発生の切迫性が伝わる情報の伝え方（防災行政無線サイレン使用）の工夫及び文例（防災・安全安心メール分）の作成</p>	○ 防災出前講座において、災害予報、土砂災害発生のメカニズム、避難勧告等の発令基準、避難の時期・方法等を内容とした研修を実施する。	○ 防災出前講座等で、災害から命を守るためのメール登録の必要性について説明を行っているが、なかなか結果に繋がらない（登録数が微増である）
行動する	<p>○ 総合防災訓練において、津波を想定し、高台への集団避難訓練を実施した。</p> <p>○ 地勢を同じくする5自主防災会が、土石流等大規模災害発生時に協力し合って避難行動等を実施するための連絡協議会を結成した。</p>	○ 小学校区内の自主防災会等を対象に避難訓練を実施する。自主防災会会員は、避難所到着後に避難者による避難所運営を行う。	
学 ぶ	<p>○ 「災害から子供たちの命を守る」「子供たちを地域の防災力として育てる」ことを目標に、各小学校の5年生を対象に防災授業を実施した。</p> <p>【例】府中東小学校5年生 73名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災全般にわたる講話（2時間） ・ 児童を地域ごとにグループ分けし、大型地図に防災上安全な施設、危険な場所、大雨・地震時の避難経路を記した防災マップを作成（2時間） ・ 体育館で、保護者と学校区内の自主防災会会長を招いて、先に作った防災マップの説明や災害に備 	○ 継続して取り組む。	

	<p>えて準備すべき防災グッズの説明、非常食(アルファ化米)を作り試食、ダンボールベッドの製作、棒と毛布による簡易担架の作り方、新聞紙でスリッパを作るなど児童・保護者・自主防災会会長等と一緒に防災の体験をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2 自主防災会会員とまち歩きを行い、終了後、集会所において地域の防災マップを作成した。 ○ 大規模地震を想定とした総合防災訓練を実施した。参加機関は4 4 機関(前回3 6 機関)と、防災協定を締結した企業の参加が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災会、高齢者いきいきサロン、社会福祉施設職員、企業等を対象に防災出前講座を実施する。 ○ 倉庫業を営む企業関係者を招へいし、災害ボランティアグループや女性会防火クラブ等防災協力団体の会員を対象に救援物資等の保管・管理等のノウハウを習得するための研修会を開催する。【新規】 	
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 社会福祉施設と防災協定を締結し、福祉避難所に指定した。 ○ 訪問看護・介護事業所職員を対象に出前講座を実施し、備蓄の必要性等を説明した。 ○ 社会福祉協議会や自主防災会等とボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。 ○ 浸水のおそれのある区域を中心に、浸水時緊急避難施設2 6 箇所を指定している。(防災マップに記載) ○ 避難所をいち早く開設する体制の整備 		

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災会、社会福祉施設、企業等の研修会や訓練時に食料・防災用品等の備蓄をお願いする。 ○ 避難所となる小中学校4箇所にマンホールトイレを整備する。【新規】 ○ 自主防災組織に対する資機材等購入など活動費助成を拡充する。【新規】 	
--	--	--	--

【海田町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課題等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民に対し防災チラシを全戸配布し、避難情報の種類と取るべき行動、避難場所や避難施設についての周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌、町ホームページ、チラシ等を利用し、防災・減災に関する情報について住民に提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報と取るべき行動が理解されていない場合が多く、定期的に啓発する必要がある。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌、町ホームページにより防災メール等への登録推進に向けた啓発を行った。 ○ 海田町において防災情報メールシステムを導入し、広報誌、町ホームページを利用し、また行事等実施時に登録推進に向けた啓発活動を行った。 ○ 防災情報メールの登録啓発チラシを全戸配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 地域土砂災害ハザードマップ作成及び配付（土砂災害防止法に基づく区域指定に伴い、地域住民の協力を得たうえでワークショップを実施し、住民の意見等を踏まえたハザードマップを作成する）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民に対し、引き続き防災情報メールへの登録について啓発を実施する必要があると感じた。

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の防災訓練を実施し、避難路及び避難場所の確認を行うとともに、合わせて避難所運営訓練も行った。 ○ J-ALERT による緊急地震速報伝搬訓練と合わせて、シェイクアウト訓練を実施した。 ○ 職員に対し、避難場所の確認、家庭内備蓄の推進に係る啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ J-ALERT による訓練等を活用し、身体防護活動の実施等の訓練を実施する。 ○ 海田町総合防災訓練を実施し、町民に対する意識の醸成を行う。 ○ 消防団と協同し、災害発生時に対応可能な体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練への参加人数について、自治会ごとにばらつきがある。内容についても、参加者が飽きない工夫が必要である。
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行事等を活用し、住民に対し災害発生時に取るべき行動、平時からの対策について講話を行った。また、災害発生時に備えた町の取組についても説明を行った。 ○ 職員を対象とした防災教室、避難所運営訓練を実施し、防災・減災に対する意識の醸成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 避難所運営マニュアルを作成し、地域における自主防災活動等での活用を呼び掛ける。 ○ 自主防災リーダー育成事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災・減災に対する意識を高めるため、引き続き説明会や研修を行う。

		し、地域の防災力を高める。【新規】	
備える	○ 防災教室、防災訓練実施時に、非常品持ち出し袋の準備、避難路及び避難場所の確認を行うよう説明した。	○ 継続して取り組む。 ○ 職員に対する防災教育の実施や、各種マニュアル等の整備を行うことにより、住民の自主避難を想定した早期の避難所開設に向けた体制の確立を図る。	○ 各家庭における備蓄推進に向けた啓発を引き続き実施する必要があると感じた。

【熊野町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課題等
知る	○ 広島県が実施する土砂災害防止法に基づく基礎調査の結果公表及び説明会を実施した。(対象：第4小学校区) ○ 広報誌、町ホームページを利用した災害危険箇所の周知及び出水期前の注意喚起を行った。	○ 継続して取り組む。 (対象：第2小学校区) ○ 土砂災害防止法に基づく区域指定後に、区域のハザードマップを地域住民を交えたワークショップを通して作成【新規】(対象：第4小学校区) ○ 継続して取り組む。	
察知する	○ 広報誌、町ホームページを利用し、防災情報メール等の登録の呼びかけを行った。	○ 継続して取り組む。	
行動する	○ 自主防災組織について、新たに1団体結成された。	○ 自主防災組織による避難訓練の補助	
学ぶ			○ 自主防災組織や企業、学校等を

			対象とした出前講座の実施
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の全自治会が安全・安心まちづくり助成金を利用して、防災倉庫や備蓄用品、AED等を整備した。 ○ 自主防災組織について、新たに1団体結成され、設立支援と備蓄用品の購入に対して補助を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治会における地域防災力の向上に、継続して取り組む。 ○ 自主防災組織の設立支援に、継続して取り組む。 ○ 防災リーダーの養成に向けた支援（防災士資格取得費用の補助など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会に対し自主防災組織結成に向けて働きかけていく必要がある。

【坂町】 資料 1-1 の再掲

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全町民を対象とした大雨土砂災害避難訓練を6月に実施（H23 から総合防災訓練のない年に実施） ○ 全町民を対象とした地震・津波災害避難訓練を10月に実施（同上） ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」を転入者等に配布し啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月に実施予定 ○ 10月に実施予定 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練参加者の減少
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知（※） ○ 登録者数の少ない地区の会長や役員の方に、町の登録制メールに登録していただき、メールで災害情報や避難所等の開設情報を周知 ○ エリアメールによる災害情報の周知（NTT ドコモ、 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> （※）6/21, 6/23 の避難勧告の際などに実施 ○ 登録制メールの登録数が少ない地域がある

	KDDI, ソフトバンク)		
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全町民を対象とした大雨土砂災害・地震津波災害の避難訓練により、事前に各種災害ごとの避難場所を知っていただき、自ら判断して避難できる体制を整備。また、避難所開設訓練や救急教室等、備蓄物資の仕分け・配給を実施予定 ○ 避難施設についても、いち早く開設する体制を整備 ○ 各地域の住民が、自ら判断して避難する体制を整えるため、町内に16箇所ある住民福祉協議会から、防災リーダーの候補者を選出していただき、「防災リーダー養成講座」を開催(H28.4～H29.2) ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備(※) 	<p>継続して取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座の内容のマンネリ化や未参加者への啓発(「学ぶ」において同じ) <p>(※) 災害が起こりそうな場合、各地区で消防団が待機</p>
学 ぶ	<p>防災リーダー養成講座を6回ワンセットで開催(H28.4～H29.2)</p>	<p>継続して取り組む。 (H29.4～H30.2予定。6回ワンセット)</p>	
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種災害時避難訓練実施説明会等において、非常時に各人がすぐに避難できる体制がとれるよう、非常持出品の準備を提唱 ○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。また、避難訓練の際などに啓発。 	<p>継続して取り組む。</p>	

【安芸太田町】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	・土砂災害警戒区域や浸水想定区域が更新された地域の各世帯に対して、防災マップを配布	○ 危険な場所、避難すべき場所、避難経路の安全等の周知についても、継続して取り組む。	
察知する	○ 台風や梅雨前線等の接近時に、防災無線による全戸放送や防災メールによる気象情報等の提供を実施。	○ 避難行動につながる情報の発信に、継続して取り組む。	
行動する	○ 台風や梅雨前線等の接近時において、消防団の屯所待機に併せて、避難施設の早期開錠を実施。	○ 住民等の安全が確保できる体制を整備に、継続して取り組む。	
学ぶ	○ 各地域が主体となった避難訓練に、町は、防災無線放送による訓練放送や防災メールの訓練配信等により協力。	○ 広報物の配布のほか、避難訓練などの実動訓練を実施し、住民等の防災知識の向上に努める。	
備える	○ 備蓄物資の更新のため、追加購入を実施。	○ 備蓄物資の定期更新を行うとともに、定型的な物資をパッケージ化するなど、搬送体制の効率化を図る。	

【北広島町】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	○ 平成28年4月に行政区長文書にて、北広島町洪水・土砂災害ハザードマップの各戸配布を完了した。また、町ホームページへの掲載も完了した。		

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講習、出前講座、住民説明会、防災訓練、広報番組等によりハザードマップを活用した災害危険箇所等及び河川浸水想定、避難場所等の確認・活用方法を周知した。 ○ 防災講習、出前講座、住民説明会、広報番組（きたひろネット）などにより県防災Webによる災害危険箇所等、避難場所等の確認方法を周知した。 ○ 土砂災害警戒区域等の指定及び公表が済む予定の地区の住民に土砂災害警戒区域等の指定について住民説明会を実施した。（対象：川迫小学校区と八重小学校区の一部） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講習、出前講座、住民説明会、防災訓練、広報番組、広報誌などによりハザードマップや県防災Webを利用して災害危険箇所等及び河川浸水想定、避難場所等の確認・活用方法を周知していきたい。 ○ 県の基礎調査で新たに指定された土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域について、随時、住民への周知をしていきたい。
<p>察知する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動の判断材料となる気象情報、河川情報及び避難情報の意味と、取るべき行動、並びに情報の入手手段について、防災教室、出前講座、ホームページ、住民説明会、防災訓練、広報誌、広報番組等により周知した。 ○ 防災教室、出前講座、住民説明会、防災訓練等の機会に「県防災情報メール」及び、「北広島町防災安全お知らせメール」のチラシを配布し、登録を促進した。 ○ テレビ（データ放送含む）、きたひろネット（音声告知放送含む）、ラジオ、県防災Web、町防災安全お知らせメール、ホームページ、広報車を通じて台風による大雨・洪水警報発令の際、避難場所等を伝達した。 	<p>継続して取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動の判断材料となる気象情報、河川情報及び避難情報の意味と、取るべき行動、並びに情報の入手手段について、さらに、住民に広く周知していきたい。 ○ 防災教室、出前講座、住民説明会、防災訓練等の機会に、さらに登録を促進していきたい。
<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者名簿の作成を完了した。 ○ 防災リーダー養成講習の際に図上訓練として、防災 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の避難支援をしていきたい ○ 地域で図上訓練後、実際にまち

	<p>マップの作成の練習を実施し、災害危険箇所、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域や浸水想定区域の確認をした。</p> <p>○ 防災教室、出前講座、住民説明会、防災訓練、広報誌、広報番組等で災害から命を守るため必要な行動(災害の種類に応じた自らの判断による避難行動)や危険を感じた時は、避難勧告等の有無にかかわらず、避難行動を行うことを周知した。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ 地域で図上訓練後、実際にまち歩きを行い危険箇所等を再確認することの周知【新規】</p>	<p>歩きを行い危険箇所等を再確認していきたい。</p>
学 ぶ	<p>○ 自主防災組織設立の促進のため、各地域からの申し出により出前講座を実施した。</p> <p>○ 地域防災リーダー養成講習を6月・2月の2回実施した。</p> <p>○ 音声告知放送や防災行政無線を通じ、地震に対する避難行動訓練を実施した</p> <p>○ 自主防災組織の活動の活性化を図るため、県が作成した「自主防災組織活性化マニュアル」を各自主防災組織に配付した。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>	<p>○ 自主防災組織の活動の活性化を図っていきたい。</p>
備 える	<p>○ 行政等が発信する情報や、県防災Web、県防災情報メール、町防災安全お知らせメールの利用や登録を出前講座、防災訓練等で広めることを実施した。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>	<p>○ 行政等が発信する情報や、県防災Web、県防災情報メール、町防災安全お知らせメールの利用や登録を地域などで共有し、さらに、住民に広めていきたい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座、住民説明会、防災訓練、防災教室、ホームページ等を通じて、懐中電灯、着替え、3日分の食糧、常備薬などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知した。 ○ 地域防災リーダー養成講習を通じて地域防災リーダーを養成した。 ○ 音声告知放送や防災行政無線を通じ、地震に対する避難行動訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 避難所運営マニュアル（自主防災会用）を作成し、各自主防災会に配付する。【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の設立や活動の活性化を図っていきたい。
--	--	--	---

【大崎上島町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害警戒区域の見直し後、危険箇所等を11月の住民説明会により周知（対象：木江地区） ○ ハザードマップのHP掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。（対象：東の地区） 	
行動する		<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時対策本部の情報伝達訓練【新規】 	
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の新規立ち上げに向け、5月に説明会を実施し、10月に再度結成を働きかけた結果、新た 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治区に対し依頼しており、各区の会合予定に合わせての進捗

	に、2組織が届出。	○ 自主防災組織育成研修会実施【新規】	となるため、継続勧奨が必要。
備える	○ 備蓄計画に基づく備蓄品等整備を12月に行った。 ○ 自主防災組織の新規立ち上げ	} 継続して取り組む。	

【世羅町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課題等
知る	○ 出前講座等で災害危険（特別）警戒区域の説明と公表されている危険区域について地図を印刷して配布し、災害危険箇所の周知を図った。 ○ 各地区、各防災組織による独自の避難所に案内看板を設置した。	○ チラシ、広報誌、ホームページ、防災教室、出前講座等のあらゆる機会を通じての災害危険箇所の周知 ○ ハザードマップの更新（警戒区域指定確定後）	○ ハザードマップが更新されていない。警戒区域の指定が確定した箇所から更新していく予定。
察知する	○ 出前講座や地域の会合等で災害発生の前兆現象や発生時の対応を周知。 ○ また、災害情報や気象情報、避難情報の伝達方法・手段（行政防災無線・エリアメール等）の周知に努めた。	} 継続して取り組む。 ○ 防災無線の更新（デジタル化）	○ 全ての町民に対する周知が徹底されていない。
行動する	○ 出前講座などのあらゆる機会を通じて避難情報の周知に努めるとともに、早めの避難の重要性を説明した。	○ 継続して取り組む。	○ 継続して広報・啓発を実施していくことが必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区、各防災組織による独自の避難所への案内看板の設置をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 消防団や民生委員などの他の地域団体との連携強化 	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区での町民対象の防災講習会の援助支援。 ○ 自主防災組織や住民自治組織を対象とした防災講座を実施した。 ○ 福山市主催の防災大学に町内から3名参加、世羅町防災士会に新規防災士3名が加入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民向けの防災講習会・訓練の実施【新規】 ○ 継続して取り組む。 ○ 地域の防災リーダー、防災士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講習会が一部地域に限られており、全町に対して実施されていない。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災センターの備蓄品の整備。 ○ 各関係機関と連携して、講習会などで非常持出品の展示などを実施して啓発活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 町内事業所等との防災協力協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な備蓄品を精査し、優先順位を整理して計画的に備えていく必要がある。

【神石高原町】

行動目標	H28年度の実施状況等	H29年度の実施等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの作成（地震）。 ○ 自主防災組織等による危険箇所の確認（自主防災組織会長へ説明） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの作成（土砂法警戒区域指定対応） ○ 継続して取り組む。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織連絡協議会の防災研修会の開催。 ○ 防災情報入手手段の周知（県作成のパンフレット配布） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災情報入手手段の周知（住民向けメール配信システムの導入）【新規】 	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難勧告等判断マニュアルの改正 ○ 防災情報の周知（自主防災組織会長へ説明） ○ 広島県防災メール等への登録促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイドライン改正に伴う修正必要 ○ 避難準備情報等の名称変更に伴う周知が必要
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者名簿は作成完了，個別計画を整理中 ○ 地域指定避難所（一次避難所）の設置（9自治振興会 15施設届出有） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者名簿等を活用した避難訓練（自主防災組織に働きかけ） ○ 継続して取り組む。 	①個別計画の作成が進んでいない。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練助成制度（上限5万円）の活用 ○ 自主防災組織連絡協議会による防災研修 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織への働きかけ（自主防災組織会長へ説明） ○ 防災リーダーの養成（防災士取得等） ○ 防災研修会等での非常持出品の周知・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 	